

めあてを高く  
できるまで やれ

岡崎市立梅園小学校  
校長室だより 6  
令和 2年 7月10日  
こん どう ふみ ひこ  
近 藤 文 彦



## …「普通」のレベルを上げる… 当たり前に行えることを増やす

職員会議で『普通』のレベルを上げよう」という話をしました。子供たちにも話をしたいと考えています。下学年には難しい内容かとも思いますが、担任の先生方の力（補足説明等）を借りて、語り続ければ下学年でも理解できるのではないかと考えています。簡単に言えば、**普通にできることを増やし、質も上げる**ということです。

犯罪社会学などと言われる「割れ窓理論」と同じように考えられます。「割れ窓理論」とは、「建物の窓が壊れているのを放置すると、誰も注意を払っていないという象徴になり、やがて他の窓も全て壊される」という考え方です。ジュリアーニ元ニューヨーク市長がこの理論を活用して、ニューヨークの犯罪を減少させ、治安回復させた事例は有名です。日本の東京ディズニーランド・東京ディズニーシーでは、小さな傷を見逃すことなく、ペンキの塗りなおし等の修繕を夜間に惜しみなく頻繁に行うことで、キャストやゲストのマナーを向上させることに成功しています。前任校では、常に隅々まできれいに掃除されているトイレがありました。マナーが悪い子供が数人いるだけで汚れてしまいましたが、便器が汚れたりスリッパが乱れたりしていることがほとんどありませんでした。まさに、東京ディズニーランド等と同じだと思いました。子供の周りにある「よい環境」が育てるのです。本年度の4月から、校内のいろいろなところを校務員さんに整備してもらっています。見えないところで環境を整えてくれる人の存在を意識して、大切に使ってほしいです。



【放送室内に並んだ上靴】

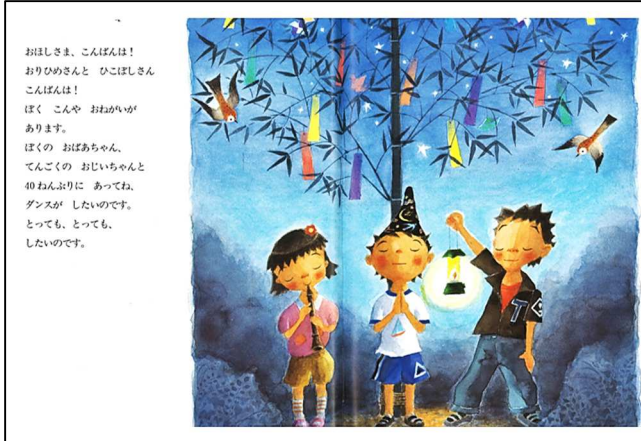
また、この**環境とは、教師も含めた人・もの・こと**です。単純な「もの」だけではありません。例えば、ノートに下敷を敷いて文字を書くという「こと」も当てはまると考えます。本校の子供たちの中には下敷きを出していても敷かない姿も見られます。当たり前に行えてほしい普通のことです。梅っ子放送局のありんこ活動では、放送室内に上靴が整然と並んでいました。このように生活面や学習面の両面について、「当たり前に行えること」が多くの場面で増えることを期待しています。多くの「人・もの・こと」について、スタートラインを高め、より子供たちを伸ばしたいです。

## 季節の日本の風習 「七夕集会」

7月1日（水）・2日（木）にMAX（学級代表）の企画による「七夕集会」を行いました。季節感あふれる日本の風習である「七夕」の由来を知り、臨時休業が明けてから1か月過ぎた時期に、これまでの生活を振り返り、個人の願い事や将来の夢・目標を短冊に書いて発表する活動を行うことで、自分の夢や目標に向かって頑張ろうとする思いをもつことができるようにしました。また、新型コロナウイルス感染防止の

ために多くの制限がある中で、明るい未来を信じ、将来に夢を持ち、努力を続ける大切さを知ってほしいと考えます。今年度は新型コロナウイルス感染防止と授業時間確保のため、2日間にわたる給食時のテレビ放送によって「七夕の絵本の読み聞かせ」と「各学年代表者の願い事の発表」に取り組みました。

### ○七夕の絵本の読み聞かせ たばた せいいち著 「ひ・み・つ」



【おばあちゃんの願いが叶うように】



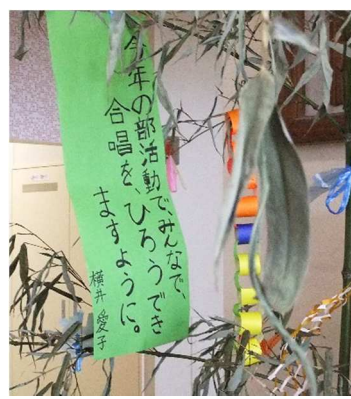
【スタジオで生放送の読み聞かせ】

MAXの子供たちが気持ちを込めて絵本を読んでいた。よく練習されており、しっかりした読み聞かせの様子に感心しました。とても短い期間での取り組みで、担当教師の支援も多かったと思います。今後は、ありんこ活動の基本である「学校を自分たちで創り上げていくために、どのような活動が必要なのか」を考え、子供たちが自分たちで考えて、実践できるように教師集団全員で支援していきたいと考えます。

### ○学年・特別支援学級・教職員代表者の願い事の発表



【浴衣を着た司会者】



【大きな短冊】



【飾りつけ】

2日には、学年等の代表者が大きな短冊に書いた「願い事」と「そのためにどんなことを頑張るか」というインタビューの様子を放送しました。教室で聞いていた子供たちが、自分の短冊に書いた夢や目標を達成しようと意欲を高め、継続させてほしいと思います。各学級で笹竹に飾った短冊を持ち帰ったと思いますので、子供たちがどんな夢や願いをもっているのか御家庭でも話題にいただければ幸いです。

2日間の七夕集会を終えた司会者の3人は、初めてで緊張しつつも、やりがいを感じているようでした。これからも季節ごとにある日本の風習への取り組みは大事にしてほしいです。そして、「ありんこ活動」を始めた先輩の「思い」を大切に、本校のリーダーとして「自分たちで日本一の素晴らしい学校に創り上げていくには、どうすればよいのか」を考えて、実践してほしいです。5・6年生の子供たちが、ありんこ長を中心に、自分たちで考えて実践できるように、支援していきたいと思ひます。